

6 霧社事件関係

858 昭和5年11月5日 在長春田代領事より
幣原外務大臣宛

霧社事件に関する長春中國側反響について

機密公第五〇〇號 (11月11日接受)

昭和五年十一月五日

在長春

領事 田代 重徳〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

臺灣ニ於ケル蕃人暴動事件ノ反響ニ關スル件

本件ニ關シ當地支那側ノ反響ヲ調査シタル處一部人士中ニ

ハ政治暴動ノ如ク曲解シ暴蕃ヲ指シテ臺灣獨立軍ト誤解シタルモノスマラアル狀況ナリ茲ニ支那側各界ノ感想ヲ綜合シ左記ノ通御参考迄報告ス

記

一、軍部方面

日本屬領臺灣ノ生蕃力今回ノ如キ暴動ヲ敢行シタルハ昭和時代ノ一大不祥事ナリ其原因タルヤ日本ノ施政力生蕃ヲ極ノナリ

本信寫送付先

代理公使 北平 上海 南京 奉天

859 昭和5年11月6日 在中國矢野公使館參事官より
幣原外務大臣宛

霧社事件に対する北平地方の新聞論調について

公第一〇一〇號

昭和五年十一月六日

在支那日本公使館

大使館參事官 矢野 真〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

台灣蕃人暴動事件ニ關スル件

今次台灣蕃人ノ暴動事件ニ關シ當地中央黨部機關紙華北日報ハ「台灣革命大爆發木沙（霧社ノ誤）地方全部革命旗幟ヲ掲揚シ日本警察署ヲ毀滅シ警察ヲ殺戮ス日本全國震動シ

度ニ壓迫シタル爲生活上不得已ル結果ナリ此ノ暴動ニ對シ日本ノ軍警兩方面カ極力彈壓中ナリト云フモ現在ノ世界和平ノ時代ニ各異族ニ對シテハ須ラク平等ナラサルヘカラサル次第ナルヲ以テ之カ施政ハ寛大且仁厚ナル手段ニ出テサルヘカラス

二、公安局方面

日本カ二十餘年前ニ併呑シタル臺灣ニ於テ生蕃カスル大暴動ヲ敢行スルニ至リタルハ即チ日本當局ノ異族ニ對スル施政方針ヲ誤リ彼等ヲ壓迫シタル結果ナリ本件ハ日本當局ニ對シ將來ノ方針ニ一大警告ヲ與ヘタルモノナリト云フヲ得ヘシ

三、商民方面

日本領地タル臺灣ニ居住スル生蕃力今回ノ暴動ヲ惹起シタル原因ハ日本官民ノ強制壓迫ニ依ルモノナリ現在日本ノ時勢ヨリ觀察シテ日本國內ノ人民ハ彼等ト相容レサル事情アリ日本ハ臺灣ニ多數ノ日本人ヲ派遣シ土人ヲ壓迫シタル結果土人ハ常ニ不平等ノ地位ニアリ常ニ不平ヲ抱懷シ居ル狀況ナリ殊ニ智識階級ニアル生蕃ハ日頃ノ鬱憤ヲ晴ラスヘキ機會ヲ窺ヒ居タルモノニシテ今回ノ暴動ハ遂ニ日頃ノ本能

急遽陸空軍ヲ出動シ進撃ス」トカ「台灣革命軍反攻シ霧社ヲ占領シ形勢愈重大ナリ東京各紙ハ當局ノ無能ヲ非難ス」等ノ大見出ヲ用ヒ益世報ハ「台人反日ノ真因ハ台人志士カ日本人ノ高壓ニ憤慨シ同胞ノ爲活路ヲ謀リ舉義日本ニ對抗セルモノナリ」等ノ見出ヲ用ヒテ連日東京發「ルーター」聯合電通等ノ通信ヲ掲載シ又客月三十日ノ華北日報ハ台灣ニ於ケル日本ノ虐政狀況ヲ述ヘ且明治大帝ノ遺策ニ依レハ台灣ト支那ハ同一地位ニ置カレ居ルニ付中國人ハ台灣ノ休戚ニ忽緒ナルヘカラス云々ト述ヘタル「台灣革命爆發〔省略〕景」ナル記事ヲ掲ケ居レルカ（原文別添）本月一日ノ世界日報及同二日ノ益世報ハ本件ニ關シ大要左ノ通論評シ居レリ

一、世界日報社評（十一月一日）

帝國主義崩潰ノ前夜ニ於テ極力殖民地ノ原料ヲ搾シ殖

民地民族カ之ニ反抗スヘキハ經濟學上公認セラレ居ル處ニシテ從テ今次ノ台灣土人ノ暴動モ印度ノ民族運動

ト同一性質ノモノナリ而シテ其暴動力方法上不適當ナルハ勿論ナルモ竟ニ文明武器ヲ有スル日本警察ニ勝フ得タルハ民氣激昂ノ度ヲ想察シ得ヘシ然レトモ彼等カ日本帝國ノ軍隊ニ對シテハ全然抵抗ノ能力無キハ論ヲ

俟タサル所ナレハ吾人ハ日本力動物愛護竝人道ノ見地
ヨリ武力使用力叛亂平定ニ止ルヘキヲ切望スルモノナ

リ云々

二、益世報時評（十一月二日）

昭和五年十一月六日

（11月12日接受）

關東廳警務局長

台灣ヲ日本ニ割讓後日本人ノ衣食ヲ同地ニ得タルモノ
幾何ナルヲ知レス其物資ノ日本ノ富強ニ與ツテ尠カラ
サルハ勿論ナリ從ソテ日本ハ假令德ヲ以テスルヲ肯セ
ストスルモ之ヲ仇敵視スヘキニ非斯然ルニ總攻擊令發
出後ノ狀況ハ台灣人ヲ掃滅セサレハ止マサルノ慨アリ
台灣人ハ果シテ掃滅スヘキカ所謂強國ノ治藩政策ハ斯
ノ如キカ鳴呼人道嗚呼弱小民族

右何等御参考迄報告ス

本信寫送附先

代理公使 南京（別紙省略）

臺灣蕃人暴動事件ノ反響

昭和5年11月6日 中谷閏東厅警務局長より
吉田外務次官他宛

霧社事件に対する東北各地新聞論調について

關機高發第二七九四四號

拓務次官殿

内閣書記官長殿

外務次官殿

内務省警保局長殿

指定廳府縣長官殿

關東軍參謀長殿

關東憲兵隊長殿

關東州駐在海軍武官殿

在京關東長官殿

滿鐵資料課長殿

臺灣蕃人暴動事件ニ關シ當地方ニ及ホシタル反響等調査ス
ルニ有識階級支那人間ニ於テハ新聞通信等ニ據リテ種々批判ヲナス者ナキニ非ラサルモ一般ヲ通シテ殆ント其反響ト
認ムルモノナク獨リ支那新聞ニ在リテハ之ヲ以テ臺灣獨立軍ト稱シテ朝鮮萬歲事件ト同一ニ論シ或ハ日本帝國主義ノ

横暴ヲ力説スル等本件ヲシテ排日宣傳ノ具トナシ居レルモ
何等反響ト認ムルモノナシ其ノ狀況左ノ如シ

一、主ナル支那人ノ感想

臺灣ノ生蕃ハ中國ニ於ケル苗族ノ如ク最モ野蠻ナル人
種ニシテ性狂暴懷悍到底歸順セシムルカ如キコト困難
ナリ明朝^{末期}ニ於テ鄭成功都督トシテ臺灣ニ駐在シ自
國商人ノ保護ニ當リタルカ當時ハ生蕃ノ行動ニ對シ何
等ノ干渉ヲ爲ササリン結果事ナキヲ得タルモ清朝ニ至
リテ歸順ヲ強要シタル爲都督ノ殺害セラレタル者アリ
ト云フ今回生蕃力反抗スルニ至リタルモ即チ日本ノ政
策力生蕃ヲ極度ニ壓迫シタル結果遂ニ本能ヲ發起シテ
暴動ヲ敢テスルニ至リタルモノナルヘシ云々

一、支那新聞ノ論調

(一)十一月一日附長春城内發行泰東報

朝鮮獨立運動未タ平定セサルニ臺灣獨立軍亦蹶起ス
各警官駐在所ヲ襲撃破壞ス臺灣中部山地臺中州霧社
附近ニ獨立軍一千五百名突然蹶起スルアリ臺灣旗幟
ヲ掲揚シ各警察官駐在所ヲ襲撃ス勢力侮リ難キモノ
アリ日本ニ於テハ軍隊百二十名ヲ派遣シ且飛行機ヲ

用ヒ偵察ス詳細未タ不明ナルモ明治二十五年以來重
大事件タルヲ失ハス云々

(二)十一月一日奉天發行東三省民報最近電報ノ傳フル處
ニ依レハ臺灣中部ノ蕃人部落霧社地方ノ生蕃ハ二十
七日突然暴動ヲ起シ群衆ヲ糾合シ附近ノ日本官衙ヲ
全部破壊シ電話線ヲ切斷シ居留日本人及警察官ハ皆
逃亡シタルカ最初小笠原群守及警察官二十餘名ヲ殺
戮シ同時ニ彈丸ヲ奪ヒ且ツ放火ス、日本當局ハ目下
種々方法ヲ講シテ討伐中ノ由ナルカ傳ヘラル處ニ
依レハ今回ノ事件ノ蕃人數ハ一千五百名以上ニシテ
騷擾原因ハ完全ニ日本ノ苛酷ナル壓迫ニ堪ヘスシテ
暴動化シタルモノナリ

這回ノ臺灣蕃人ノ暴動ト最近ニ於ケル印度人對英人
ノ衝突トハ皆帝國主義者ノ高壓ニ堪ヘスシテ反抗變
亂ヲ激成シタルモノナリ今日突然反抗ヲ起シタルニ
對シ觀測スル者ハ單ニ強驚不馴ヲ覺ユルノミニシテ
多年來常ニ苛酷ナル壓制ヲ蒙リ忍ヒ得サル虐待ニ遇
ヒ遂ニ殺人放火ノ慘劇ニ出テタルヲ知ラス況ヤ群衆

霧社事件に対する汕頭地方の中國側反響小さ

「丑、生、未、旦淨等ハ何レモ芝居ノ役者ノ名稱テ
アル」

昭和5年11月7日 在汕頭別府領事より
幣原外務大臣宛

度ノ抗英ヲ見ルト共ニ臺灣ノ反日ヲ見ル該兩地ハ一方
ニ吾中國舊有ノ屬領ヲ他人ニ割譲シタルモノニシテ
今日此ノ情況ヲ見聞シテ果シテ如何ナル感想アリヤ
和平ヲ以テ終極ノ歸依トナスモノニシテ各國力聯合
シテ世界ノ和平軍縮等ヲ討論スルハ其ノ意見ニアリ
テ人民ヲ奇使シタル上中古專制時代ニ歸ラシメサラ
ントスルニアリ專制手段ハ即チ世界ノ人類ノ共ニ容
レサル處ナリ蓋シ人類智識ノ進化遂ニ此ノ境ニ至ラ
シメタルモノニシテ此レヲ以テ證明スルニ最近ニ於
ケル印度ノ抗英臺灣ノ抗日ハ例へ進化遲鈍ナル蕃民
ナルト雖尙且ツ斯^ク如キ現象アリ何カ故ニ數千年ノ

力起ツテ日本ノ奴魂モ飛吹サレル程吃驚サセタソ
タヨ^(ニギヤク)（退場）（未ハ蕃民ノ頭目ニ扮裝ス）胡師ニ
見ユ（生）御立チ下サイ（未）ハロヲ開キ蕃民ハ日
本ノ奴隸トナツカト嘆聲ヲ發ス只今汝等覺悟シテ
革命ヲ起シ亡國ノ辱ヲ雪ケヨト云ヒツツ遂ニ大聲ヲ
舉ケテ泣キ出ス胡謔ニ向ヒ貴方聞イテ下サイ我等ハ
日本兇鬼ノヤル事ハ實ニ憤慨ニ堪ヘナイノテ始メテ
此ノ台灣ノ島上ニ國旗ヲ掲揚シタ然ルニ彼日本ハ自
ラ恥ヲ知ラス大兵ヲ派遣シ飛行機ヲ飛ハシ彼ノ高壓
手段ヲ尙モ改メス我等蕃邦小國ヲ壓迫スルアノ日本
ハ朝鮮ヲ欺服シタ上台灣人ハ全ク眼中ニ置イテ居ナ
カツタ處カ一聲ヲ舉ケルヤ蕃民ノ頭目ハ革命ヲ起シ
タ云々

「丑、生、未、旦淨等ハ何レモ芝居ノ役者ノ名稱テ
アル」

本事件ハ當地ニ關スル限り今日迄ノ處差シテ支那側ノ耳目
ヲ聳動シ居ラサルカ如ク之ニ關スル言動ヲ發スル團體モナ
ク新聞紙等ニ在リテモ右汕報ヲ除ケハ新聞材料トシテ將又
排日惡宣傳等ノ資料トシテ之ヲ取扱ヘルモノ見當ラス
右何等御參考迄ニ報告ス

本信寫送付先

ノ氣ハ實ニ見ル可キナリ而シテ印度ノ對英臺灣ノ對
日ヲ實力ヲ以テ比較セハ螳螂ノ斧ヲ以テ事ニ當リ卯
ヲ以テ石ニ觸ルルニ過キサルモ能ク強暴ヲ畏レス熱
血ヲ惜マスシテ難ニ臨ムハ實ニ帝國主義者力平素異
族ニ對シ如何ニ虐待ヲ加フルカラ證明スルモノナリ
壓制ノ力大ナレハ大ナル程反抗ノ力亦大ナリ今ヤ印
度ノ抗英ヲ見ルト共ニ臺灣ノ反日ヲ見ル該兩地ハ一方
ニ吾中國舊有ノ屬領ヲ他人ニ割譲シタルモノニシテ
今日此ノ情況ヲ見聞シテ果シテ如何ナル感想アリヤ
今日ノ世界人類ハ世界ノ和平ヲ主張ス列強ハ皆一方
ニ霸ヲ稱フルヲ以テ優越感ヲ覺ユルモノ人類ノ本性ハ
和平ヲ以テ終極ノ歸依トナスモノニシテ各國力聯合
シテ世界ノ和平軍縮等ヲ討論スルハ其ノ意見ニアリ
テ人民ヲ奇使シタル上中古專制時代ニ歸ラシメサラ
ントスルニアリ專制手段ハ即チ世界ノ人類ノ共ニ容
レサル處ナリ蓋シ人類智識ノ進化遂ニ此ノ境ニ至ラ
シメタルモノニシテ此レヲ以テ證明スルニ最近ニ於
ケル印度ノ抗英臺灣ノ抗日ハ例へ進化遲鈍ナル蕃民
ナルト雖尙且ツ斯^ク如キ現象アリ何カ故ニ數千年ノ

何ヲ

〔三〕十一月四日奉天城内發行新民晚報（丑）ハホーイニ

扮裝シ包米餅子ヲ食ヒナカラ小江樓ニ走ツテ行ク

（介）ハ内ニ居テ博士ノ呼聲ヲ聞イテ急イテ二階ニ

上ツテ行ク

（生）ハ胡謔ニ扮裝スホーイハ何處ニ居ルカ（丑）

胡旦那何カ御用テスカ（生）台灣ニ行ツテ蕃民ノ頭
目ヲ呼ソテ來イ（丑）承知シマシタ^(ニギヤク)台灣ニ大革命

文明ヲ有スル中國ハ近來外人ノ凌辱ト壓迫ヲ蒙ルヤ
即チ言フニ忍ヒサル恥辱タル侵略ヲ蒙ラハ甘ンシテ
之ヲ讓リ亦人民土地金錢兵力アルモ徒ラニ内戰ヲ釀
成シ勇往邁進シテ外侮ヲ防禦セサルノミナラス反ツ
テ兄弟牆ヲ闖ク數萬方里ト數億ノ人民ヲ有スル大國
カ其外侮ヲ防禦ノ心ニ至ツテハ千數百人ノ印度臺灣
人ニモ及ハサルハ誠ニ汗ノ至リナリ印度ノ對英割讓
臺灣ノ對日割讓ノ恥辱ハ目前ニアリ此ノ數十年間國
家愈々亂レ國民愈々弱ル國幣ヲ損シ領土ヲ割キタル
舊恨未タ癒ヘス今乃チ吾人ヲ興奮セシムル此ノ種事
件ヲ坐視スルヲ知ラス吾人ノ之レニ對スル感想ノ如

いとの報告について

公第四四〇號

（11月19日接受）

昭和五年十一月七日

在汕頭

領事 別府 熊吉〔印〕

外務大臣男爵 壱原 喜重郎殿

霧社兇蕃ノ擾亂事件ニ對スル支那新聞記事送付ノ件
霧社兇蕃事件ニ關シ當地漢字紙ハ未タ何等ノ報道ヲ掲載セ
サリシ處六日汕報ハ臺灣ヨリノ來信ト稱シ別添切抜ノ通リ
花岡一郎ノ寫眞ナルモノヲ掲ケ「臺灣霧社發難之汕訊」ト
題シテ事件ノ原因ヲ各蕃社ノ受ケタル所轄地方政府ノ不平
等待遇ト見做シ之力首魁ヲ花岡一郎トナシ右發生以來ノ概
況ヲ記述シ居レリ

本事件ハ當地ニ關スル限り今日迄ノ處差シテ支那側ノ耳目
ヲ聳動シ居ラサルカ如ク之ニ關スル言動ヲ發スル團體モナ
ク新聞紙等ニ在リテモ右汕報ヲ除ケハ新聞材料トシテ將又
排日惡宣傳等ノ資料トシテ之ヲ取扱ヘルモノ見當ラス

〔許ササル處本事件ノ經緯ニ對シテハ重大ナル原因ノ存
在スルハ明ナリ彼等ノ理性ハ吾等鮮人ヨリ遙カニ幼稚ナ
ルヲ以テ民族的意識又ハ不平等統治等ノ如キ政治的觀念
ニ事件ヲ惹起シタリトハ認メラレス全然單純ナル感情ニ
禍サレタル結果ニ過キサルヘシ〕

862

昭和5年11月11日

在長春田代領事より
幣原外務大臣宛

霧社事件に対する長春地方朝鮮人の感想について
(11月19日接受)

機密公第五二二號

昭和五年十一月十一日

在長春

領事 田代 重徳〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

管内朝鮮人ノ生蕃暴動事件ニ對スル感想報告ノ件
當地方中國人側ノ生蕃暴動事件ニ『關スル反響ニ付テハ昭

和五年十一月五日附機密公第五〇〇號拙信ヲ以テ報告シ置
キタル處右ニ』關シ當館管内居住朝鮮人ノ感想ニ付調査シ
タルニ概ネ左記ノ通ナリ何等御参考迄此段報告ス

記

〔イ吾々朝鮮人モ臺灣蕃人ト同一ノ支配下ニアリ決シテ他山
ノ石トシテ輕視スヘキモノニアラサルト共ニ亦徒ニ論評

和五年十一月五日附機密公第五〇〇號拙信ヲ以テ報告シ置
キタル處右ニ』關シ當館管内居住朝鮮人ノ感想ニ付調査シ
タルニ概ネ左記ノ通ナリ何等御参考迄此段報告ス

一、長春

〔ロ所謂蕃人其ノモノハ思慮淺薄ナルヲ以テ之カ指導如何ハ
自然善化惡化ノ岐ル所ナリ尙未開蠻人ノ指導ハ一ソニ
應對寬嚴適度ナルヲ要シ暴ニ酬ルニ暴ヲ以テスルカ如キ
ハ爲政者トシテ慎ムヘキモノナリ今回ノ事件ハ實ニ昭和
聖代ノ不祥事ナルモ好ク其ノ原因ヲ探究シ和平寬容ノ裡
ニ解決スルコト先進國ノ襟度ナルノミナラス亦殖民地政
策ノ要諦ナリ〕

二、公主嶺

〔今ノ暴動事件ハ大正八年ニ於ケル朝鮮萬歳事件ノ如キ
感アリ發生ノ原因ニ付テハ未タ知ルヲ得サルモ或ハ待遇
問題又ハ理蕃政策ニ欠陷アリタルニ端ヲ發シタルモノニ
アラサルカ生蕃ト雖モ人間タル以上何民族タルヲ論セス
被壓迫民族トシテ壓迫民族ニ對シ不平ナキハ望ミ難キ處
ト雖モ要ハ其民族ニ適合スル政策ヲ取リ一日モ速ニ「壓

迫」ト稱スヘキ觀念ヲ除去セシムル様融和手段ヲ執ルコ
ト肝要ナリ兎モ角斯ル事件ノ發生セルコト日本ノ外國ニ
對スル体面上ノ損失渺カラサルヘシ

在廣東

總領事代理 須磨 彌吉郎〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

臺灣ニ於ケル蕃人暴動事件ニ關シ廣東方面ノ反響報

告ノ件

〔先般臺灣ニ於ケル蕃人ノ暴動事件ノ報道當地ニ傳ハルヤ當
地居住臺灣籍民中當館ニ出頭シテ事件ノ真相ヲ問合セルモ
ノ數名アリタルニ依リ當時新聞紙報道ニ基キ誤解ナキ様懇
篤ニ右真相ヲ説示シ置キタル一方支那側等ノ誇大ナル報道
ニ誤マラレ事ノ真相ヲ辨ヘス徒ニ不逞臺灣籍民等ニ乘セラ
ルゝ機會ヲ與フル惧ナキヲ保シ難キニ付充分注意中ノ處現
在當地居住臺灣籍民ハ其ノ數僅カ四十餘名ニ過キス然モ其
ノ大半ハ當地博愛會醫院ニ勤務スル醫業關係者ニシテ何等
不穩的思想ヲ抱キ居ルモノ無ク且ハ這般ノ事件力所謂本島
民ニ非ラサル蕃人ノ行動タル點ヨリシテ何レモ對岸ノ火災
視シ今日迄何等不穩ノ言動アルヲ認メス〕

本信寫送付先

代理公使 北平 上海 南京 奉天 朝鮮總督

編注『』を指して「拓務省へハ此ノ間省署ノ」「との
書き込みあり。」863 昭和5年11月11日 在廣東須磨總領事代理より
機密公第一、三〇六號広東地方における霧社事件に対する反響について
(11月25日接受)

昭和五年十一月十一日

〔テ許ササル處本事件ノ經緯ニ對シテハ重大ナル原因ノ存
在スルハ明ナリ彼等ノ理性ハ吾等鮮人ヨリ遙カニ幼稚ナ
ルヲ以テ民族的意識又ハ不平等統治等ノ如キ政治的觀念
ニ事件ヲ惹起シタリトハ認メラレス全然單純ナル感情ニ
禍サレタル結果ニ過キサルヘシ〕

織階級ニシテ頗ル組織的ナルニ依リ其ノ原因ノ何レニ在ル

ニセヨ究竟多年日本帝國主義ノ壓迫ヲ受ケ來レル臺灣民衆ノ爆發的行動ニシテ右ハ彼等多年ノ苦痛ヲ裏書スルモノナリト報告シ暴動者ニ對シ頗ル同情的態度ヲ持シ居レス

本件ハ尙引續キ注意中ナルモ今日迄ノ經過不取敢報告申進ス

本信寫送附先

在支臨時代理公使

在支公使館首席書記官

在福州 香港各總領事

在南京 廈門 汕頭各總領事

臺灣總督

864 昭和5年11月18日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

昌照報告について
國民政府記念週における霧社事件に関する錢

南京 11月18日後発
本省 11月18日後着

865 昭和5年11月24日
在廈門寺嶋領事より
幣原外務大臣宛

廈門における霧社事件の反響について
(12月1日接受)

機密第五四五號
昭和五年十一月二十四日
在廈門

領事 寺嶋 廣文〔印〕

上海、北平、奉天、廣東へ轉電セリ

上海、北平、奉天、廣東へ轉電セリ

外務大臣男爵 幸原 喜重郎殿

廈門ニ於ケル霧社事件反響ニ關スル件

當地ハ本々臺灣ト極メテ密接ナル土地柄ニモアリ霧社ニ於

ケル蕃人ノ暴動事件ニ付テハ之ヲ利用シテ何等力宣傳ノ具

ニ供セントスルモノアルヲ慮リ豫テ注意シ居リタル處意外

ニ反響ナク當地發刊ノ各新聞モ臺灣總督府關係ノ全閩新日報ヲ除キテハ比較的冷靜ニシテ左表(省略)ノ通り見出シハ可ナリ

不穩ト認メラルモノアルモ内容ニ至リテハ殆ト全部聯合、電通若シクハ臺北電報ニ依ルモノニシテ暴動ノ事實並討伐

ノ狀況ヲ報道スルニ止マリ論說ヲ見ス幾分排日的色彩ヲ有

スル思明日報ノ如キハ本件ニ關スル電報ヲ揭載セサリシ

狀態ナリ尤モ集美ニ留學スル要注意臺灣學生會ニ在リテ

ハ十一月十八日附機密第五三三號批信報告後更ニ當地印刷

店ニ於テ別添ノ如キ「臺灣蕃族革命特刊」ト稱スル不穩傳

單約五千枚ヲ印刷シテ(印刷店ノ取締方ニ付テハ嚴重支那

側ニ申入置キタリ)各方面ニ配布シタル模様ナルカ格別ノ

反響ヲ見サル狀況ナリ

右御参考迄報告ス
本信寫送附先

第八三二號

霧社事件ニ關シ當地新聞ハ過日來蠻民ニ多少同情的筆致ヲ以テ誇大ニ報道シ居タルカ十六日國民政府記念週ニ於テ秘書錢昌照ハ大要左ノ通報告セリ御参考迄

事件ノ原因ハ判然セサルモ恐ラク生活上ノ壓迫ニ依ルモノノ如シ元來蠻人ノ數ハ多カラス組織亦不完全ナルヲ以テ彼等カ公然強力ナル日本ニ反抗スルハ龍車ニ向フ蝙蝠ニ等シク當然失敗ニ終ルヘキモ彼等今回ノ奮闘及犠牲ニ依リ將來其ノ生活ヲ改善シ得ヘキヤ否ヤハ之ニ對スル日本ノ措置ヲ見サルヘカラス云々

上海、北平、奉天、廣東へ轉電セリ

866 昭和5年11月24日

在廈門寺嶋領事より
小村(欣一)拓務省朝鮮部長他宛

霧社事件の朝鮮における影響について
(11月28日接受)

朝保秘第一五四〇號
昭和五年十一月二十四日

朝鮮總督府 警務局長
朝鮮總督府 警務局長

在支臨時代理公使

上海、廣東各總領事

臺灣總督府總務長官

拓務省朝鮮部長殿
北海道廳長官殿
内務省警保局長殿
警察視總監殿
樺太廳長官殿
臺灣總督府警務局長殿
關東廳警務局長殿
京都、大阪府知事殿
神奈川、兵庫、長崎、新潟、殿

1075

群馬、奈良、三重、愛知、静岡殿
山梨、滋賀、岐阜、長野、福井殿
富山、岡山、廣島、山口、和歌山殿
福岡、熊本各縣知事殿
朝鮮軍司令官殿
朝鮮憲兵隊司令官殿
各法院檢事長殿
各法官檢事正殿
各道知事殿
各派遣員殿

臺灣霧社蕃人事件ノ朝鮮民心ニ及シタル影響ニ關ス
去月二十七日臺灣臺中州能高郡霧社ニ勃發セル蕃人ノ兇暴事件ノ報一度鮮内ニ傳ハルヤ地方民心ニ異常ノ衝動ヲ與ヘ早クモ三十日ニハ大邱高等普通學校内ニ「臺灣ノ同志戰フ倭族ヲ滅亡セヨ我等モ共ニ戰ハム」等ト數個所ニ落書シタル者アリ漸次事件ノ詳報周知セラルニ伴ヒ鮮内主義者等ハ之ヲ動機トシテ如何ナル妄動ニ出ヅルヤモ計リ難キニ付鮮内一般ニ亘リ特ニ注意警戒ニ努メツツアルモノ元來朝鮮人ル件

ハ數千年ノ歴史ヲ有スル文化人ナリト誇特シ居ル關係上生蕃ノ行動ニ模倣追從スルヲ潔トセザルモノノ如ク從テ目下ノ處何等表面的運動ヲ計畫スル者等ナク時日ノ經過ト共ニ一般民衆ノ記憶ヨリ拭ヒ去ラルモノト思惟セラル状況ニアルガ本件ニ關スル一般部民ノ思想ハ相當穿索シタル觀察ヲ爲スモノアリ其ノ状況大要左記ノ通ニ付御参考迄通報ス

一、内地人方面

(1) 原因ニ就テ

(1) 事件ノ原因ハ頗ル單純ナリ今回ノ事件ハ霧社蕃人一齊ニ蜂起シ在留内地人ノ悉クヲ殺戮シ惡鬼ノ狂ガ如キ兇暴ヲ逞ウシタルヲ以テ何人モ其ノ原因動機必ズヤ重大ナルモノアルベシト一想像スル處ナルモ由來蕃人ハ原始人其儘ニシテ文明人ノ如キ高尙複雜ナル感情ヲ有セズ粗暴單純ナルコト敢テ禽獸ニ劣ラザル程度ノモノニシテ野蠻人ノ常トシテ迷信妄語盛ニ行ハレ些細ナル一小事ニ對シテモ生命ヲ賭シテ兇暴スルヲ常シツツアルモノナレバ這回ノ事件モ

深ク穿索スレバ至極單純ナル動機ヲ原因トシテ發生シタルモノナラン

(2) 理蕃政策ノ誤謬ニ依ル從來ノ理蕃政策ガ徒ニ德化撫育ニ依リ彼等ヲ皇化セシムルコトノミニ急ナリシハ當局ノ統治方針ノ錯誤ニシテ其ノ結果斯ル不祥事件ヲ見タルハ甚ダ遺憾ナリ之單ニ臺灣ノミニ止ラズ我朝鮮ニ對シテモ爲政者ノ多クハ徒ラニ朝鮮人ノ輿論ニ迎合シ彼等鮮人ノ權利擴張自由解放ノミヲ圖リ眞ニ國家百年ノ計ヲ樹ツルコトナキハ邦家ノ爲寒心ニ堪ヘズ

(3) 蕃人ノ先天的慘虐性ニ基因ス本回ノ事件ノ原因ハ

未だ詳細發表セラレザルモ吾人ノ觀ル處ヲ以テスレバ畢竟彼等蕃人ノ血管ニ流ルル先天的本能的慘虐性ガ驅リテ斯ル不祥事ヲ惹起シタルモノナルベシ秋晴ノ晨無心ニ嬉戯スル學童婦女子ヲ一人残ラズ何ノ理

由ヲ示サズ慘殺セントスルガ如キハ吾人ノ到底想像シ能ハザル處ニシテ惡鬼羅刹ノ行爲ナリ元來彼等ヲ人間トシテ處遇スルガ過ナリ

(4) 當局ニ於テ教育ノ力ヲ過信シタル結果ナリ殘虐性

(2) 責任ニ就テ

這回ノ事件ハ全ク些細ナル原因ニヨリ勃發シタルモノナリトスルモ斯ル大慘劇ヲ演出シ何等事前ニ探知シ得ザルノミナラズ警察官署ノ武器彈藥ヲ悉ク彼等ノ手中ニ委シタル如キハ警察ノ無能ヲ曝露シタルモノニシテ

相當之ガ責任處罰ヲ明ニシ將來ノ訓トナスベキナリ云々

(3) 兇蕃對策ニ就テ

從來ノ理蕃政策ノ根本方針ハ全ク彼等ノ德化ノミニ主力ヲ注ギ我帝國ノ國威ヲ彼等蕃人ニ示シタルコトナキ爲道義人道ヲ辨ヘザル彼等ハ内地人與シ易シト遂ニ我ヲ侮リスル慘劇ヲ生ズルニ至リシモノナリ故ニ斯ノ兇暴ニ對シテハ最後ノ一人迄モ徹底的討滅ヲ圖ルハ勿論他ノ蕃人ニ對シテモ今後ハ恩威併行ノ政策ヲ採ルベキナリ

(4) 事件ノ影響ニ就テ

這回ノ事件ハ警察軍隊ノ威力ニヨリ遠カラズ剿滅スルニ至ルベキモ吾人ハ刻下朝鮮人間ニハ民族的社會運動漸次熾烈トナリ學生大衆ヲ前衛トシテ我帝國統治ニ對シ汎ユル反抗運動ヲ續ケツツアル際ナルヲ以テ不良鮮人等ニ於テ本件ヲ好題トシテ今後民族的運動線上ニ氣勢ヲ揚グルコトナキヤヲ虞ルモノナリ

二、親日朝鮮人方面

本件ハ聞クダニ戰慄ヲ催ス處ニシテ斯ル暴虐敢行ノ原因ハ未ダ詳細判明セザル模様ナルガ新聞紙ノ報道スル

基キ勃發シタルモノニシテ蕃人ト雖人間ナル以上過度ノ壓迫ヲ爲セバ自然反抗心ヲ起スハ當然ナリ之當局者ノ施政宜敷ヲ得ザル結果ニシテ又在留内地人ノ心スペキ點ナリ

(a) 内地延長主義ノ弊

今回ノ事件ハ寔ニ聖代ノ不詳事ニシテ之ヲ武力討伐スルハ止ムヲ得ザルベキモ彼等ヲ斯ク爲サシメタル原因ヲ深ク考フルトキハ爲政者トシテモ一考ヲ要スベキ點多々アリ即チ臺灣ト朝鮮トハ日本ノ殖民地トシテ殆ド同様ニ取扱ハレ居レルガ之ニ對シ日本ノ統治方針ハ一二内地延長主義原住民族同化主義ニアルガ如キモコハ眞ニ他民族ヲ治ムルノ道ニアラズ彼等内地人ノ善意ヲ以テ施設セラル事モ吾人朝鮮人ニ取りテハ甚ダ苦痛迷惑ニシテ餘リニ吾等ノ歴史ト風習ト民族トヲ無視セルモノナリト反對セザルベカラザルモノアリ今回ノ蕃人ノ蜂起モ必ズヤ同化政策ノ押賣リニ苦シミタル彼等ノ最後ノ反抗ナラム

(b) 當局ノ發表シ難キ重大原因アラン

彼等蕃人ハ何處迄モ兇暴性ヲ發揮シテ軍隊ニサヘ抗

處ニヨレバ蕃婦關係勞銀問題賦役過重問題等アルガ如

キモ如何ニ如此施設ニ不満アリトスルモ他ニ之ヲ打開スベキ何等カノ方法アリシ筈ナルニ拘ラズ敢テ此ノ蕃勇ヲ振ヒ内地人二百餘名ヲ殺害セルガ如キハ神人共ニ

許サザル惡虐無道ノ行爲ニシテ寔ニ憎ミテ餘アル處ナリ幸ニ目下警察軍隊等ニ於テ鎮壓ニ努メツツアルヲ以テ遠カラズ平靜ニ歸スベキモ此際彼等ヲンテ再ビ暴舉ニ出ヅルガ如キコトナキヤウ徹底的討伐ヲ爲スノ要アリ而シテ鮮内主義者ハ彼等蕃人ノ行動ニ對シテモ之ヲ壯舉トシテ賞讃スルガ如キ言動ヲ爲スモノアルモ吾等ハ今世界ノ一等國民トシテ燦爛タル文化ヲ有シ其ノ智慧感情亦文明人ノ伍伴ニ列シ敢テ遜色ナキニ拘ラズ彼ノ禽獸ニ類スル蕃人ノ行爲ニ刺戟セラレ之ヲ模倣賞讃セントスルガ如キ者ニ對シテハ其ノ心裡諒解ニ苦シムモノナリ

三、一般朝鮮人

(1) 原因ニ就テ

(1) 内地人ノ蕃人酷使差別待遇ニ基因ス

今回ノ事件ハ内地人ノ蕃人ニ對スル酷使差別待遇ニ

争シツツアルガ如キハ餘程ノ重大ナル原因アリシコトハ想像セラル彼ノ新聞ニ發表セラレツツアルガ如キ貢銀問題蕃婦關係ノ如キニアラザルベシ

(2) 警察官ノ横暴彈壓ノ爲ナラン

日本ニ於テハ結婚政策マデ獎勵シテ彼等ノ歡心ヲ買フコトニ努メツツアリタル際斯ル悲慘事ノ勃發シ先づ警官ヲ槍玉ニ揚ゲ政策結婚ノ犠牲者迄慘殺シタル方如キハ其ノ原因必ズヤ施政ノ第一線ニ立ツ警察官ノ横暴過酷ナル振舞アリシコト想像ニ餘リアリ我朝鮮ニ於ケル各種ノ事件モ其多クハ警察官ノ介在セザルモノナシ

(2) 責任ニ就テ

日本帝國ハ殖民地ニ對シ一視同仁ヲ聲明シ公明正大ナル施政ヲ行フコトヲモツトートシツツアル際斯ル不詳事ヲ惹起シタルハ濱口首相初メ現内閣各相殊ニ拓務當局臺灣總督等其ノ責任ハ殊ニ大ナリ事件直接ノ責任者タル地方官憲ニ對シテハ速力ニ公正ナル處分ヲ爲シ世ニ公ニスベキナリ

(1) 武力討伐ハ不可トスルモノ

今回ノ兇蕃人ハ生蕃中ノ一部分ニ過ギザレドモ他ノ

蕃族ト雖日本統治ニ對シ同様ノ感ヲ抱持シ居ルベシ

日本ハ口ニ一視同仁ヲ唱ヘ居ルニ拘ラズ今回ノ事件

發生スルヤ總督府ハ直ニ軍隊ノ出動ヲ促シ警察官ト

共ニ彼等兇蕃ヲ掃蕩スルノ策ニ出デタル模様ナルガ

既ニ日本臣民ノ班ニ列シタルモノニ對シ一途ニ武力

討伐ノ法ニ出デタルハ遺憾ナガラ非文明的ニシテ武

斷政治ナリトノ非難ハ免レザルベシ

元來少數ナル一民族ハ強大ナル他民族ニ於テ武力ヲ

以テ全滅ヲ期スルガ如キハ國際上ヨリモ亦道徳上ヨ

リモ甚ダ攘斥スペキコトナリ今後當局ニ依然トシテ

武斷政治ヲ行フトキハ斯ル不詳事ハ常ニ繰返^(サヌ)ヘザル

ベシ

(2) 新聞掲載ヲ不可トスルモノ

今回ノ蕃人ノ反逆事件ノ如キヲ盛ニ新聞ニ報道セラ
レ日本軍隊ノ武力討伐ヲ周知セシムコトハ一面朝鮮
人ノ感情ヲ異様ニ刺戟シ不良青少年等ニ對シ不知不
識ノ間ニ排日行動ニ出デシムルノ惧アリ當局ニ於テ

ハ此點ヲ特ニ考慮スルノ要アリ
事件ノ影響

今回ノ兇蕃事件ハ全ク朝鮮ニ於ケル大正八年騒擾事件ニ比スベキ大事件ナルガ朝鮮ニ於ケル運動ハ只萬歳ヲ叫ビタルニ過ギザレドモ今回ノ蕃人等ハ其ノ死ヲ賭シテ奮闘シタルコトハ全ク彼等ガ如何ニ必死的覺悟ノ上ニ起チタルカラ思ハシメ我民族ニトリテダイニ學ブベキモノアリ

四、民族主義者方面

(1) 原因ニ就テ

(1) 蕃人ニ對スル蔑視差別待遇ニ基因ス

彼蕃人ノ蜂起ハ内地人ノ當時堪へ難キ侮辱ト差別的
ニシテ人種ニ依リ差別的壓迫ヲ加フルガ如キハ神人
共ニ許サザル行動ナリ然ルニ日本人ハ他民族ニ臨ム
ヤ必ズ一種ノ優越感ヨリ壓迫差別待遇ヲナスハ我朝
セラレ居タリシヤヲ想像セラル世ノ進化ト共ニ彼等
蕃人ト雖漸次侵略者ノ羈絆ヨリ脱セントスルハ當然

鮮人ニ於テモ體驗シツツアル處ナリ
(a) 蕃人ノ不平鬱積シテ勃發ス

今回ノ事件ハ其ノ原因内地人ニ於テ未開民族ナリト
テ蕃人ニ對シ當時壓迫政策ヲ執リ來リタル結果彼等
ノ宿怨鬱積シ止ムニ止マレズ遂ニ彼ノ大慘虐ヲ敢行
セルモノナラン吾等等シク弱少民族ニシテ彼等ヨリ
受クル刺戟特ニ切ナルモノアリ

(2) 臨時政府ノ横暴ト日本民族ノ優越感ニヨル

テ云ハバ日本帝國主義ノ侵略政策ニ依ル壓迫ニ對シ
耐エ難キ不平鬱積シテ遂ニ此ノ一大事ヲ惹起シタル
モノト云フベキナリ之帝國主義者ノ偽瞞政治ノ現實
曝露ナリト謂フコトヲ得ベシ我朝鮮ニ於ケル大正八年
獨立騒擾事件ト共ニ日本帝國主義政策ノ大破綻ナ
リ

當局ノ野卑懷柔政策ニ基因シテ
今回ノ事件ハ一面些細ナルコトヨリ端ヲ發シタルガ
如キモ當局ノ誤リタル野卑懷柔ノ施政ニ對シ之ヲ怨
恨トシテ暴動セリト雖同情スベキモノアリ如何ニ無
智ナル蕃人ト雖人間ナル以上非人間の籠絡手段ノミ
ニヨリ取扱ハルトキハ反逆行爲ヲナスハ當然ニシ
テ當局ノ如何ニ蕃人ニ對スル政策ガ愚劣ノモノナリ
シカハ今回ノ事件ニヨリ略窺知スルニ難カラズ

(2) 日本帝國主義ノ偽瞞政治ノ曝露ナリ

既ニ臺灣ハ日本ノ政治トナリテ三十有五年ヲ經過シ
一視同仁ノ大御心ト力ニテ愛撫保育シ來リタルニ突
如如斯大惨事ノ勃發セルハ何ニ原因スルヤ一言ニシ

(3) 印度ノ反英運動朝鮮ノ排日運動ノ刺戟ニ依ル

今回ノ事件ハ全ク弱少民族ノ帝國主義羈絆ヨリ脱出
セムトスル解放運動ニテ其ノ原因ハ種々舉ゲラルベ
キモ決シテスル特種事情ニ依ルモノニ非ザルベシ彼
等蕃人ト雖人間トシテ自覺スル時餘リニ其ノ周圍ノ
壓迫迫害多ク到底耐エ難キ窮境ニ迄追詰メラレ遂ニ

- (ト) 裏面ニ本島人アリテ煽動アリトナスモノ
臺灣ニ於ケル本島人ハ全ク我白衣同胞ト同一境涯ニ置カレ常ニ同一步調ヲ以テ民族戰線ニ馳驅シツツアルカ彼等ハ等シキ弱少民族トシテ蕃人ノ環境餘リニ惠マレズ然モ純眞單情ナル彼等蕃人ノ前途ニ同情シ蹶然奮起セシメテ日本帝國主義者ノ反省ヲ促スベク陰ニ煽動使嗾シタル爲此ノ大事件勃發スルニ至リシモノナルベシ何レニセヨ四千年ノ歴史ヲ有スル支那民族ノ血ヲ亨クル本島人ノ劃策ハ巧妙ニシテ密ナリ事件ノ對策ニ就テ
- (2) 最近被壓迫民族乃至被搾取階級ノ解放ハ澎湃トシテ世界ノ思潮トナリツツアル際日本官憲ハ一途ニ武力對策ヲ爲シツツアルガ之全ク非社會的行爲ニシテ彼等蕃人ト雖斯ル非文明的彈壓ニ對シテハ永久ニ反抗心ヲ消滅スル事ナカルベク廳テハ革命政治運動史上ヲ飾ルニ至
- (3) (イ) 朝鮮ノ運動戰線ヲ振起セシムベシ
ルベシ
ノニシテ等シキ弱少民族ノ反抗運動トシテ大イニ刮目スペキ事件ナリ日本帝國主義ノ壓迫政策ハ各殖民地ニ亘リ彈壓方策ニ出デ原住民族ノ撲滅ヲ企圖シツツアルハ顯著ナリ單純剽悍ナル臺灣蕃人ハ先ヅ之ニ耐工兼不自民族ノ潰滅ヲ覺悟シテ強烈ナル反抗運動ヲ起シタルコトハ我民族ノ到底追從シ能ハザル處ニシテ幸ニ本件ニ依リ鮮内志士ノ蹶起ヲ促ス動機トナラバ望外ノ收穫ナリ
- (ロ) 運動ノ強弱巧拙ハアルモ朝鮮ノ民族運動ト同様ナリ
今回ノ蕃人事件ハ未ダ吾人ノ耳ニセザル程ノ兇暴行為ヲ敢行シタルガ深ク裏面ヲ考察スル時ハ吾等ノ運動ト違フ處ナシ我朝鮮ニ於テハ半萬年燐爛タル文化ノ歴史ヲ有シ思想感情決シテ文明人トシテ遜色ナキモノナルヲ以テ此ノ點蕃人トハ比較ニナラザルモ等
- (ハ) 蕃人事件ハ朝鮮人ヲ振起セシメ朝鮮獨立ノ日ヲ速カナラシム
- (ハ) 蕃人事件ハ沈滯セル鮮内ノ民族運動ニ一大シヨツクシムルヲ觀テ世界人トシテ遜色ナキ吾等朝鮮民族ハ決シテ現在ノ壓迫政治ヲ忍受スルコト能ハザルハ當然ニシテ速ニ日本帝國主義ノ羈絆ヨリ脱シ民族獨立ノ道ヲ辿ルベキナリ
- (ハ) 幸ニ本件ハ沈滯セル鮮内ノ民族運動ニ一大シヨツクヲ與ヘ朝鮮民族ノ將來ニ光明ヲ與フル動機トナラム
- (二) 日本帝國主義武斷政治ニ備ヘザルベカラズ
日本ノ殖民地政治ハ一視同仁ヲ國はトシ文化開發ヲ高調シツツアルニ拘ラズ一度原住民族ノ反抗運動勃發スルヤ之ニ臨ムニ慰撫鎮靜ノ策ヲ用ヒズ一舉ニ武力勦滅ヲ期スルガ如キハ全ク平素彼等ノ口上ハ一ノ偽瞞的常套手段ニシテ其ノ眞意ハ依然トシテ原始的
- (ト) 事件ノ影響ニ就テ
ルベシ
今回ノ事件ハ朝鮮ニ於ケル三一運動ニ匹敵スペキモノニシテ等シキ弱少民族ノ反抗運動トシテ大イニ刮目スペキ事件ナリ日本帝國主義ノ壓迫政策ハ各殖民地ニ亘リ彈壓方策ニ出デ原住民族ノ撲滅ヲ企圖シツツアルハ顯著ナリ單純剽悍ナル臺灣蕃人ハ先ヅ之ニ耐工兼不自民族ノ潰滅ヲ覺悟シテ強烈ナル反抗運動ヲ起シタルコトハ我民族ノ到底追從シ能ハザル處ニシテ幸ニ本件ニ依リ鮮内志士ノ蹶起ヲ促ス動機トナラバ望外ノ收穫ナリ
- (ト) 統治方針根本的ニ考究スベシ
1082

這間ノ事件ニ對シ當局ハ徒ラニ武力討伐ニ依リ對策成レリトスルコトナク其ノ發生原因ヲ深ク考究シ殖民地統治方針ノ根本的建直シヲ策スル要アリ即チ正義人道ニ立脚シ原住民族ノ人格的待遇ノ道ヲ満シ從來彈壓ノミヲ事トシ居リタル言論、出版、集會、結社ノ自由ヲ認メ官吏ノ待遇ヲ平等トシ移民ノ制限ヲナスペキナリ

(チ) 臺灣統治方針一變セム

本件鎮壓後ハ石塚臺灣總督以下當路責任者ノ更迭アルベク其ノ後ハ臺灣統治方針一變スルハ明瞭ニシテ大正八年騷擾事件後ノ經驗ニ徵シ確實ナリ

(リ) 團結心ノ強固勇壯ハ賞讃ノ價值アリ

今回ノ蕃人ノ行動ハ計畫的ニ大舉シタルニ拘ラズ攻克ク團体的動作敏速ニ活動シ彼ノ強烈ナル反抗運動ヲ續ケタルコトハ其ノ行動壯トスベク吾人ハ感動スル處大ナリ

五、社會主義者方面

現在ノ社會制度ハ最モ不合理ニシテ社會生活上缺陷多

ク殊ニ總督政治ハ吾等民族ニ對シ只彈壓壓迫政策ヲ以テ臨ミ吾同胞ヲ益々窮地ニ陥レツツアリ今回ノ蕃人事件ノ如キモスル壓迫ガ積憤シテ勃發セルモノニシテ其ノ裏面ニハ支那共產黨ニ關係アル本島人ノ介在アルベク若シ朝鮮人ニモ武器アラバスル事件ヲ惹起スルニ至ルベシ

六、朝鮮人學生方面

今回ノ事件ニ對シ當局ハ軍隊警察ヲ以テ總攻擊ヲ爲シ妄動ニ何等關係ナキ可憐ナル蕃人婦女子迄モ討伐シ全滅ヲ期シツツアルハ正義人道ニ反スル措置ナリ臺灣ガ日本ノ占領ヲ受クルコトナカリシカバ蕃人モ斯ル慘虐ノ取扱ヒヲ蒙レルコトナカリシナルベシト考フル時一掬ノ泪ナキヲ得ズ

吾人ハ日本帝國主義ノ殖民地政策ノ眞意ニ觸レ朝鮮民族ノ前途ヲ思フ時寒心ニ堪ヘザルモノアリ

七、在鮮支那人方面

臺灣ニ居住スル本島人ハ往時支那ヨリ移住歸化シタルモノナルガ日本ノ領占後ハ内地人移住者激増シ爲ニ本島人ハ支那ニ引揚グル者アル狀態ニテ從テ民族的反感カナリ

867 昭和5年11月27日 松田拓務大臣宛
松田拓務大臣より
幣原外務大臣宛

霧社事件の経緯について

(11月27日接受)

二、應急措置

急報ニ接シ臺中州ニ於テハ騷擾蕃人鎮壓ノ爲州下警察官ノ非常召集ヲ行ヒ警務部長ハ百七十八名ノ警察官ヲ指揮シテ二十七日午后十時半埔里ニ到着、尙花蓮港廳ヨリ百名、臺北州ヨリ二百名、臺南州ヨリ百五十名ノ警察官ヲ應援セシムルコトトナリ更ニ臺灣總督ハ臺灣軍司令官ニ兵力ノ使用ヲ請求シ直チニ軍ノ出動ヲ見タリ

件(別紙)

臺中州霧社方面蕃人騷擾ニ關スル件

昭和五年十一月二十六日

一、發端

- 一、速ニ騒擾ノ中心地ト認メラル霧社方面ノ狀況ヲ
明カニシ騒擾地ニ於ケル居住者ノ救助ニ努ムルコ
ト
- 二、霧社蕃人及之ニ加擔セントスル者ニ對シテハ徹底
的ニ鎮壓ノ實ヲ舉クルコト
- 三、苟モ騒擾ニ關係ナシト認メラル蕃人ニ對シテハ
之ヲ慰撫シ其ノ保護操縱ニ力メ之ヲ動搖セシメサ
ルコト
- 霧社方面蕃人騒擾事件勃發スルヤ拓務省トシテハ不取
敢生駒管理局長ヲ特派シテ被害者及討伐隊ノ慰問並實
狀調査ニ當ラシメ萬遺算ナキヲ期スルコトトセリ
- 三、反抗蕃社
- 反抗蕃社ハ霧社蕃十一社中パーアン社、トーガン社及
シーパウ社ヲ除ク八社（マヘボ、ボアルン、スク、
ホーゴー、ロードフ、タロワン、カツツク及タカナン）
ニシテ其ノ戸數三百十八戸、人口千三百九十九人、壯
丁三百二十五人、其ノ首謀者ハマヘボ社頭目モーナル
タオナルカ如シ
- 四、討伐狀況

- 一、霧社搜索隊ハ軍隊側ト協力シ極力兇蕃ノ鎮壓ニ努
メ凡ソ十一月末日頃迄ニ敵ノ主力竝各處ニ散在セ
ルモノニ對シ大體鎮壓ノ實ヲ舉クルコト
- 二、霧社搜索隊ハ凡ソ十二月上旬ニ防備上必要ナル掩
堡ノ構築ヲ完了スル外將來新設復舊乃至改築スヘ
キ駐在所ノ工事ヲ出來得ルタケ進捗セシムルコト
- 三、前項駐在所ノ工事ハ一部警察官ノ手ニ依リ一部ハ
部分渡シヲ爲ス等適當ノ方法ヲ講シ凡ソ年度内ニ
完成セシムルコト
- 四、十二月上旬ヨリ逐次搜索隊ヲ減少シ凡ソ十二月二
十日頃迄ニ他州廳竝練習所ヨリノ應援員ヲ解隊シ
其ノ所屬州廳ニ歸還セシムルコト
- 五、他州廳ヨリノ應援員解隊後ハ新ニ増員セラル可キ
巡査警手（凡ソ巡査二百名、警手二百名ノ增員ヲ
豫定内巡査七十名ハ増員實施済）及至急霧社分（半分久）
管内配置ノ巡査警手ヲ以テ警備並防備工事ニ任せ
シムルコト
- 尙今次ノ討伐ニ際シ警察官中死傷者六名内死者警部一、
巡査四、傷者一ヲ生シタリ

臺中州警察隊ハ途中殆ント何等ノ抵抗ヲ受クルコトナ
ク二十九日午前八時五分霧社ヲ回復、三十一日朝ヨリ
臺中隊二百五十名、臺北隊百八十八名、臺南隊百五十
一名、花蓮港隊百四十三名及警察官練習生隊百五十五
名計八百八十七名ノ警察隊ハ軍隊側ト協力ノ上騒擾區
域ノ總討伐ヲ開始シ（尙其ノ後臺中州ニ於テハ更ニ警
察官四十五名ヲ増派シ新竹州ヨリハ新ニ五百十名ノ警
察官ヲ派遣應援スルコトトナレリ）十一月二日マヘボ
社ノ奪取ヲ最後トシテ反抗蕃社ハ全部我方ノ手ニ歸セ
リ

現在蕃人ハマヘボ溪上流ノ溪谷並ハポン附近ノ山中ニ
逃散セルヲ以テ目下ノ處反抗蕃人ニ對スル措置ハ尙多
少ノ時日ヲ要スルモノト認メラル然レ共已ニ騒擾ノ根
據地ヲ奪取シ兇蕃ノ勢力モ著シク衰ヘタル現在ニ於テ
ハ必スシモ軍ノ駐屯ヲ必要トセサルヲ以テ最近總督府
ト軍隊側ト協議ノ結果十一月末ヨリ十二月上旬ニ亘リ
出動軍隊ノ大部ヲ逐次撤退シ今後警察官側カ主トシテ
殘徒ノ鎮定ニ當ルコトトナリ其ノ結果本月十八日總務
長官ハ臺中州知事ニ對シ左ノ訓電ヲ發シタリ

渺ナカラス殊ニ小學校寄宿舍新築ニ當リテハ其ノ
材料ヲ霧社ヨリ數里隔テタルマヘボ社ノ狩獵地ヨ
リ伐木シ之ヲ肩ニ擔キテ運搬セシメタルコト及是
等ノ出役ニ對スル賃銀支拂ノ遲延等ニ依リ蕃人ノ
不平高潮シ近來ハ出役ニ應セサル者スラアルニ至
レリ

一、然ルニ十月七日マヘボ社ニ於テ結婚祝ノ酒宴ヲ爲
セルトキ偶々造材ノ爲マヘボ山ニ入ラムトスル吉

村巡查等ニ會シ酒ヲ獎メタル處相互ノ誤解ヨリ同
巡查トモーナルダオノ長男ダダオモーナトノ間ニ
爭鬭ヲ惹起シタル爲常ニ官憲ヨリ猜疑ノ眼ヲ以テ
視ラレツアリト自覺セルモーナルダオハ今回ノ
事件ヲ機會トシテ官憲ヨリ嚴罰ニ處セラレムコト
ヲ恐レ居タリ

一、偶々ホーゴー社蕃丁ピホサツボナル者アリ其ノ父
ハ明治四十三年警察官ヲ殺害シタルタメ同社ハ燒
拂ヲ受ケ父モ亦之ニ死シタルコトアリテ内地人ヲ
敵視スルコト甚タシク之ニ加フルニ大正十四年頃

萬大社ヘ養子トナリシカ本年十月中旬頃離縁トナ
リテホーゴー社ニ歸來シタルタメ蕃人ノ習俗ニ從
ヒ誠首ノ意思ヲ有シタルカ二十六日夜半二三ノ仲
間ト語ラヒ内地人ヲ殺サムト決意シマヘボ社ニ赴
ツ杉浦マヘボ駐在巡查ヲ殺サシメ遂ニ之ヲ機會ト
シテ附近ノ内地人全部ヲ殺サムトシテ今回ノ事變
ヲ惹起セリ

一、今回ノ兇行ハ過去ノ經驗ニ於テ事前ニ相談計畫等
ヲ爲ストキハ官ノ覺ルトコロトナリ失敗ニ終ルヲ
常トスルニヨリモーナルダオハ突如トシテ兇行ヲ
敢行セムトシ不平ノ底流セル各蕃社之ニ應シタル
モノト認メラル

六、被害狀況

騷擾區域内在留者五百五十八名ニシテ内死亡百三十名、
生死不明七名、生存四百二十一名ナリ

~~~~~